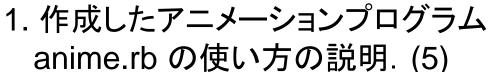
コンピュータ・サイエンス第1 クラス: xx 担当: XX 2016.10.dd

課題1のテーマ

四則演算でアニメーション

レポート#1

(数字は配点)





- 2. 作成したアニメーションプログラムの計算の仕組みの説明. (10) 工夫した点も書くこと(これは**別途加点項目となるので重要**).
- 注)採点者は授業の説明などは知らないし、プログラムは読まない、という仮定のもとに書くこと. Ruby 言語の説明は不要. 付録:アニメーションプログラムを印刷したもの.

<mark>採点基準(満点 20)</mark> レポート点数 (15) +工夫 (~ 10 ← 加点)

〆切 次回,授業前に提出(9:30分まで) 〆切を過ぎると 受け取らない場合もある なお事前提出(※)も可能。

※担当教員のシラバス参照

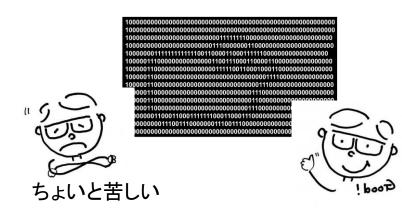
コンピュータ・サイエンス第1 クラス: xx 担当: XX 2016.10.dd

課題1のテーマ

四則演算でアニメーション

アニメーションプログラムの要求仕様

- 1. ファイル名は anime.rb とすること.
- 2. 動きがあること.
- 2. 「計算」を使うこと.
 - 演算は四則演算程度)
 - 繰り返し文, 条件分岐文もOK
- 3. おもしろいこと. ← これはオマケ



要求仕様 ◆→ プログラムに要求される条件

コンピュータ・サイエンス第1 クラス: xx 担当: XX

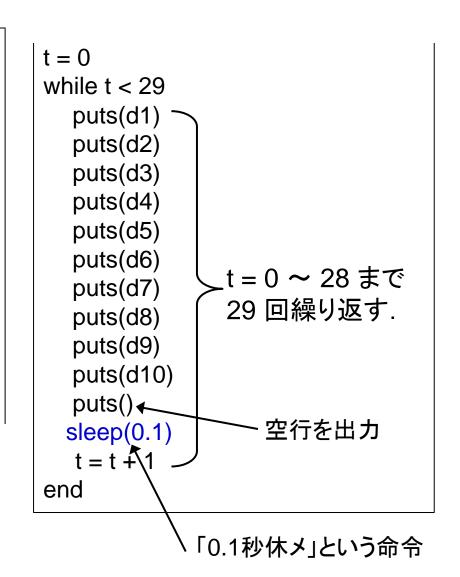
2016.10.dd

アニメーションプログラムの例

ステップ1:絵を作る

```
# smile.rb
#出力:スマイルマーク
d2 = 1000000000110000110000000000
d3 = 100000000011000011000000000
d5 = 100000110000000000011000000
d6 = 100000011000000000110000000
d7 = 100000001100000001100000000
d8 = 10000000001111111110000000000
```

/ 各変数には 28 桁の数が入っている その各々が絵の1 行分を表している.



コンピュータ・サイエンス第1 クラス: xx 担当: XX

2016.10.dd

アニメーションプログラムの例

ステップ2:動かす

```
# smile.rb
# 出力: スマイルマーク
d2 = 10000000011000011000000000
 t = 0
 while t < 29
  puts(d1)
  puts(d2)
             画面に出す部分
  puts()
  sleep(0.1)
  d1 = d1 / 10
  d2 = d2 / 10
```

```
d3 = d3 / 10
d4 = d4 / 10
d5 = d5 / 10
d6 = d6 / 10
d7 = d7 / 10
d8 = d8 / 10
d9 = d9 / 10
d10 = d10 / 10
t = t + 1
end
```

あとは各自で工夫 して下さい